



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 郁夫
 問合せ先責任者 (役職名) 業務管理部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (3552) 6111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	14,262	△3.7	156	△75.2	42	△94.1	57	△88.0
25年12月期第2四半期	14,816	△7.6	632	△56.7	723	△51.2	478	138.6

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 35百万円 (△96.4%) 25年12月期第2四半期 984百万円 (155.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	0.50	—
25年12月期第2四半期	4.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	55,061	35,546	55.4
25年12月期	56,391	36,103	55.0

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 30,519百万円 25年12月期 31,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	0.2	900	27.6	900	△2.4	400	△42.4	3.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期 2 Q	118,325,045株	25年12月期	118,325,045株
② 期末自己株式数	26年12月期 2 Q	4,637,106株	25年12月期	4,629,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期 2 Q	113,691,694株	25年12月期 2 Q	113,703,310株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による一連の経済政策により円高是正や株価上昇傾向が定着するとともに、企業収益の改善から設備投資や雇用情勢も上向くなど回復傾向が続きました。また、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動で弱含んだ個人消費も、持ち直しの動きを見せております。

世界経済は、米国では景気回復が続き、欧州でも持ち直しの動きが続いております。また、中国では景気拡大テンポは緩やかになっているものの、確実な拡大傾向が続きました。

このような状況の中、当社グループは、製品価格是正に取り組むほか、海外展開の強化やコスト削減活動等にグループ一丸となって取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高142億6千2百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益1億5千6百万円（同75.2%減）、経常利益4千2百万円（同94.1%減）、四半期純利益5千7百万円（同88.0%減）と減収減益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、国内については電炉業界は電力料他のコスト増要因が多く、電極価格の是正には厳しい対応が続いており、海外についても需給関係の改善は進みませんでした。

ファインカーボン部門は、太陽電池や半導体市場の回復は確かなものとなってきましたが、力強い需要回復には至らず、炭素繊維および特殊炭素材料の販売数量は微増にとどまりました。一方、リチウムイオン電池負極材につきましては、拡販活動が実を結び販売数量が増加に転じました。また、炭化けい素繊維は堅調に推移いたしました。不浸透黒鉛製品につきましては、概ね順調に推移いたしました。

この結果、売上高は137億8百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益（営業利益）は2千5百万円（同94.7%減）となりました。

(不動産賃貸関連)

賃貸オフィスビルの稼働率が前年同四半期に比べ若干向上し、また、工場遊休地の賃貸等の増加もありましたことから、売上高は2億7千4百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円（同27.0%増）となりました。

(その他)

産業用機械の受注が低調に推移しましたことから、売上高は2億7千8百万円（前年同期比44.8%減）、セグメント利益（営業利益）は2千5百万円（前年同期比64.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は550億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3千万円減少しました。流動資産は、現金及び預金の増加9億3千2百万円がありましたが、売上債権の減少6億9千3百万円およびたな卸資産の減少6億1千8百万円により、294億6千7百万円と前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円の減少となりました。固定資産は、減価償却の進捗により有形固定資産が減少し、255億9千4千万円と前連結会計年度末に比べ11億4千4百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億7千2百万円減少し、195億1千5百万円となりました。流動負債は、借入金の減少などにより154億5千1百万円と前連結会計年度末に比べ2億3千7百万円減少しました。固定負債は、長期借入金の減少3億9百万円により、40億6千4百万円と前連結会計年度末に比べ5億3千4百万円減少しました。

純資産は、配当金の支払5億8千8百万円及び四半期純利益5千7百万円により、355億4千6百万円と前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ10億3千2百万円増加し、69億4千6百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、26億3千3百万円の収入(前年同四半期 9億5百万円の収入)となりました。これは、仕入債務の減少により1億6千4百万円、法人税等の支払により1億1千1百万円の資金使用があったものの、減価償却費が13億2千8百万円、売上債権の減少により6億7千3百万円、たな卸資産の減少により5億9千2百万円の資金回収があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、2億5千4百万円の支出(前年同四半期 4億6千万円の支出)となりました。これは、定期預金の減少により9千9百万円の資金回収があったものの、有形固定資産の取得で3億5千3百万円の資金使用があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、13億4千5百万円の支出(前年同四半期 14億8千7百万円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済が6億5千8百万円及び配当金の支払が5億6千2百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月1日に開示した通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,159	7,091
受取手形及び売掛金	8,070	7,376
商品及び製品	8,988	8,620
仕掛品	3,643	3,518
原材料及び貯蔵品	2,045	1,919
その他	746	941
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,652	29,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,324	19,330
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,132	△11,327
建物及び構築物（純額）	8,192	8,002
機械及び装置	36,558	36,990
減価償却累計額	△28,714	△29,744
機械及び装置（純額）	7,844	7,245
車両運搬具及び工具器具備品	2,769	2,834
減価償却累計額	△2,362	△2,449
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	406	385
土地	4,071	4,066
建設仮勘定	210	72
有形固定資産合計	20,725	19,772
無形固定資産	70	68
投資その他の資産		
投資有価証券	3,881	3,901
その他	2,095	1,886
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	5,942	5,753
固定資産合計	26,739	25,594
資産合計	56,391	55,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,242	4,069
短期借入金	9,844	9,367
未払法人税等	134	93
賞与引当金	114	334
役員賞与引当金	29	8
その他	1,322	1,578
流動負債合計	15,689	15,451
固定負債		
長期借入金	897	587
退職給付引当金	1,865	1,830
役員退職慰労引当金	77	80
環境対策引当金	105	39
資産除去債務	72	72
その他	1,579	1,453
固定負債合計	4,598	4,064
負債合計	20,287	19,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	15,322	14,811
自己株式	△870	△871
株主資本合計	29,656	29,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,363	1,374
繰延ヘッジ損益	△16	△1
為替換算調整勘定	14	2
その他の包括利益累計額合計	1,360	1,375
少数株主持分	5,086	5,026
純資産合計	36,103	35,546
負債純資産合計	56,391	55,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	14,816	14,262
売上原価	12,001	12,092
売上総利益	2,814	2,169
販売費及び一般管理費	2,181	2,012
営業利益	632	156
営業外収益		
受取配当金	39	38
為替差益	140	—
その他	51	49
営業外収益合計	230	88
営業外費用		
支払利息	88	68
支払手数料	—	39
為替差損	—	18
和解金	—	43
その他	52	32
営業外費用合計	140	202
経常利益	723	42
税金等調整前四半期純利益	723	42
法人税、住民税及び事業税	112	79
法人税等調整額	54	△65
法人税等合計	166	13
少数株主損益調整前四半期純利益	556	28
少数株主利益又は少数株主損失(△)	77	△28
四半期純利益	478	57

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	556	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	382	10
繰延ヘッジ損益	2	15
為替換算調整勘定	42	△19
その他の包括利益合計	427	6
四半期包括利益	984	35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	887	72
少数株主に係る四半期包括利益	97	△36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	723	42
減価償却費	1,409	1,328
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△115	△34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
受取利息及び受取配当金	△70	△40
支払利息	88	68
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△558	673
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△452	592
未収入金の増減額 (△は増加)	185	135
前払費用の増減額 (△は増加)	△127	△95
仕入債務の増減額 (△は減少)	320	△164
未払費用の増減額 (△は減少)	36	55
未払金の増減額 (△は減少)	△215	122
預り金の増減額 (△は減少)	△76	△99
その他	187	123
小計	1,326	2,709
利息及び配当金の受取額	71	43
利息の支払額	△87	△69
法人税等の還付額	51	14
法人税等の支払額	△491	△111
保険金の受取額	35	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	905	2,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△336	△353
無形固定資産の取得による支出	△1	△8
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
定期預金の純増減額 (△は増加)	△130	99
その他	9	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	108	△103
長期借入金の返済による支出	△975	△658
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△560	△562
少数株主への配当金の支払額	△58	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,487	△1,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,040	1,032
現金及び現金同等物の期首残高	6,422	5,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,382	6,946

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	不動産 賃貸関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,069	242	504	14,816	—	14,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	249	249	△249	—
計	14,069	242	753	15,065	△249	14,816
セグメント利益	479	83	70	632	—	632

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	不動産 賃貸関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,708	274	278	14,262	—	14,262
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	158	158	△158	—
計	13,708	274	437	14,421	△158	14,262
セグメント利益	25	105	25	156	—	156

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。